

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

清掃車(汚泥吸引車)

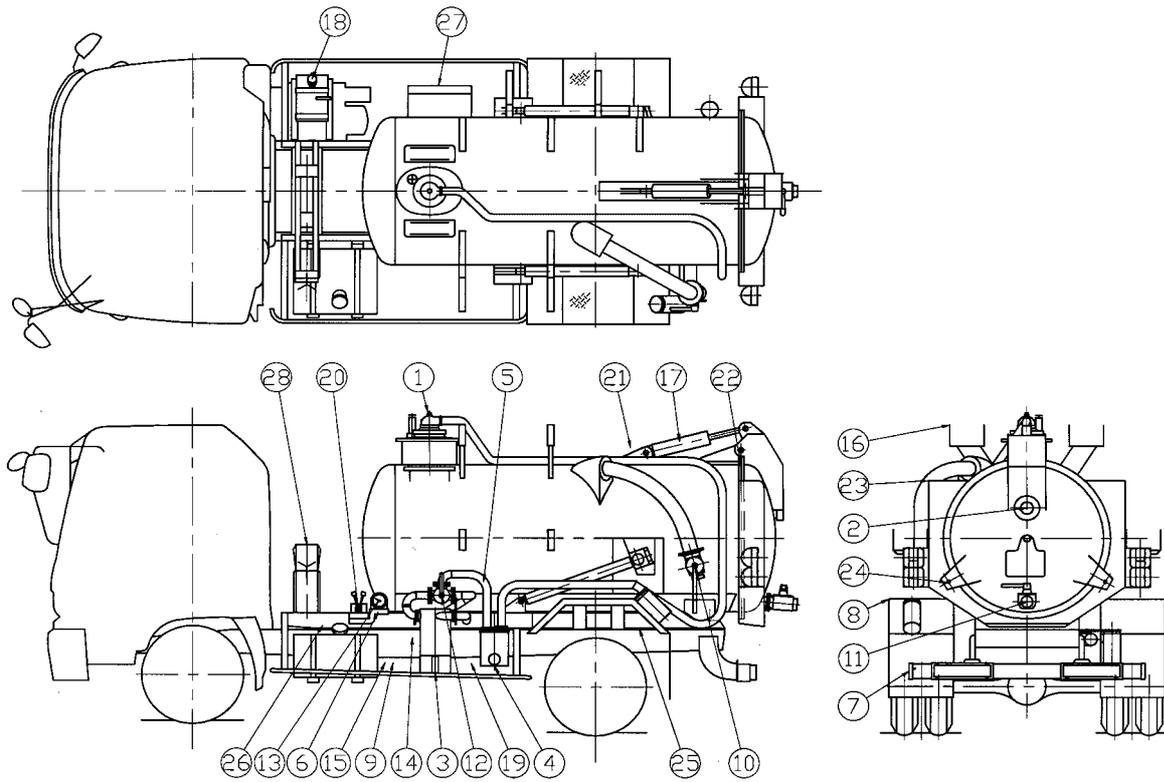
1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル(株式会社モリタエコノス 共通編)」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

内 容

1. 汚泥吸引車架装物の構造概要図
2. 汚泥吸引車架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口

株式会社 モリタエコノス

1. 汚泥吸引車架装物の構造概要図

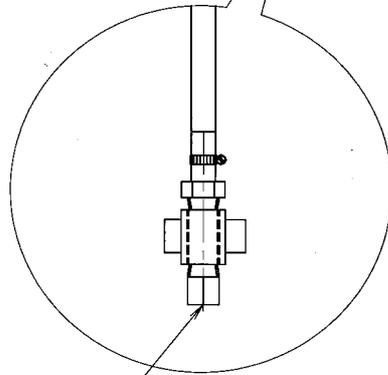
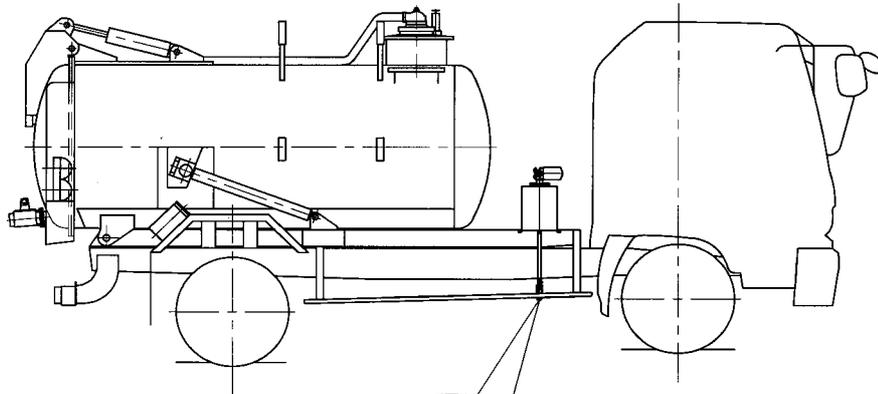


品目 番号	品目名	品目 番号	品目名	品目 番号	品目名
1	主マンホール	11	排出コック	21	油圧ホース
2	物量計	12	吸排切替コック	22	ハッチリング
3	メインセパレータ	13	連成計	23	ハッチカバー
4	チャッキ弁付セパレータ	14	オイルストレナー	24	後部扉ロック装置
5	真空配管	15	駆動伝達ジョイント	25	敷き板
6	作業用スロットル	16	吸管受	26	締結具
7	リヤバンパー	17	油圧シリンダー	27	外装部品
8	フェンダー	18	オイルタンク	28	スペアタイヤキャリア
9	真空ポンプ	19	油圧ポンプ		
10	吸入コック	20	油圧切替弁		

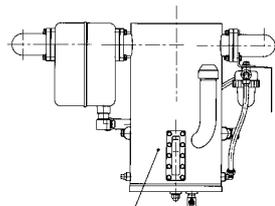
2. 汚泥吸引車架装物の解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理	タンク内積載物の残物の洗浄、清掃処理を専門業者にて実施する。 必ず中身を確認願います。	引火、酸欠、中毒等に 注意してください。
	事前処理	真空ポンプ及び油圧シリンダー、オイルタンク等の油を抜き取り、 廃油は専門業者にて処理する。	
	事前処理	主要な外装部品を取り外す。	
車両全体	架装物	締結具等のボルトを取り外し、シャーシと架装物を切り離します。	シャーシ側とつながっている 伝達ジョイントを切り離す。
架装物	タンク本体	溶断、切断等により、裁断し材料により分別します。	引火、切断フェーム、粉塵等に 注意してください。
1	主マンホール	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
2	物量計	同上	
3	メインセパレータ	同上	ドレンから油を抜く。
4	チャッキ弁付セパレータ	同上	ドレンから残液を抜く。
5	真空配管	同上	取り外して、残液を抜く。
6	作業用スロツトル	同上	
7	リヤバンパー	同上	
8	フェンダー	同上	
9	真空ポンプ	同上	ドレン等から残液を抜く。
10	吸入コック	同上	
11	排出コック	同上	
12	吸排切替コック	同上	
13	連成計	金属とゴム類、樹脂類、ガラス類に分別します。	
14	オイルストレナ	同上	取り外して、油を抜く。
15	駆動伝達ジョイント	取り外し、分別します。	
16	吸管受	同上	
17	油圧シリンダー	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	取り外して、油を抜く。
18	オイルタンク	同上	ドレンから油を抜く。
19	油圧ポンプ	金属とゴム類に分別します。	取り外して、油を抜く。
20	油圧切替弁	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	取り外して、油を抜く。
21	油圧ホース	金属とゴム類に分別します。	取り外して、油を抜く。
22	ハッチリング	取り外し、ゴム類に分別します。	
23	ハッチカバー	金属とゴム類に分別します。	
24	後部扉ロック装置	同上	
25	敷き板	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
26	締結具	取り外し、分別します。	
27	外装部品	同上	
28	スペアタイヤキャリア	同上	

事前処理 図



オイルタンクドレン



メインセパレータ

ドレンコック

油圧ホース	
油圧シリンダ	取り外してから油を抜き取る。
真空ポンプ	
オイルタンク	ドレンプラグを取り外し、油を抜き取る。
メインセパレータ	ドレンコックより油を抜き取る。 【油量】小・中型車 4.7L 大型車 9L

3. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関しまして、お問い合わせ事項等ございましたら、
下記までお願いいたします。

株式会社モリタエコノス 技術開発部

TEL 0729 - 95 - 0615

以上